

# まるくもくらぶの紹介

【アクセス】JR 安曇川駅から車で約 40 分



★ 朽木雲洞谷



## 大自然に囲まれた集落

滋賀県高島市西部の標高600mの山あいに広がる朽木雲洞谷(くつきうとだに)地区。道の駅くつき新本陣からさらに10km以上の山道を抜けた先にある大自然に囲まれた集落だ。林業で栄えた歴史があり、今でも山菜が豊富に採れ、栃もち、木炭、米などの特産物も豊富。また、平成から令和への「大嘗祭」にて供えられる「黒酒(くろき)」の原料として、雲洞谷の炭窯で作った久佐木の炭が献上された。「大嘗祭」とは、天皇が皇位継承に際して行う皇室行事である。住人にとっても誇り高いことであろう。地区に脈々と受け継がれてきた歴史と文化を後世に残したいと活動する「まるくもくらぶ」のみなさんにお話を聞いた。



## みんなでまあるく、地域の自然と伝統を守る

「雲洞谷の自然と伝統を守り、未来を創る」をコンセプトに、地域住民の有志メンバーによって立ち上げられた「まるくもくらぶ」。2018年に、みんなであるく、いろんな方と一緒に活動を進めたいという想いで設立した。この想いはロゴに反映されている。「雲」の外に丸が描かれているシンプルなものだが、この丸は完全に閉じておらず、少し切れている。雲洞谷エリア外の方にも参加してもらおうための入り口を意味しているのだとか。雲洞谷の大自然と伝統を守るため、炭焼き窯を復活させたり、琵琶湖の源流が流れる田んぼを再生したりとさまざまな活動を進めている。また、まるくもくらぶの設立に当たっては、京都から移住してきた藤原夫妻の影響も大きい。移住者の目線から感じた雲洞谷地区での暮らしは、すべてが新鮮で、すべてが魅力的だったそう。地区に溶け込んでいく藤原夫妻との交流から、昔から当たり前にあるものの価値に気付かされ、自分たちの地域の伝統や魅力を再認識していくことになる。この日は雪が積もり大変寒い日だったが、まるくもくらぶのみなさんは暖かく出迎えてくれた。冗談も交えながら話してくれ、団体の仲の良さや温かい人柄を垣間見ることができた。

## 協働活動団体を募集



「まるくもくらぶ」

代表 井上 岩夫 氏 副代表 澤田 龍治 氏  
書記 藤原 穂波 氏 会計 山下 勇 氏

まるくもくらぶの主な活動内容は炭作りと米作り。炭は木を切り出す専門的な作業から始まるが、木を割ったり、炭を箱詰めしたりと細かな作業もあり、人手が欲しいところ。また、お米は琵琶湖の源流を直接田んぼに引いて生産しており、特にまるくもくらぶの生産する田んぼは土が良く美味いらしい。しかしながら、田んぼが深く足をとられるため、作業管理には苦労もあるそう。現在、まるくもくらぶでは「しがのふるさと支え合いプロジェクト」に参加し、協働活動に取り組んでいる。ただ、ただの団体を募っている。田んぼや炭作りに興味がある方や、昔ながらの農山村体験をこれからの未来の経験値に変えてくれるような学生さんを主に募集している。また、田んぼの作業は天候に左右されることも多いため、協働活動をする団体が泊まれるように古民家の改修も行う予定である。古民家に泊まって、米作りや炭焼きなどの田舎体験もできるとはなんとも贅沢である。古民家の改修作業に協働で取り組むことも可能なので、集落のこれからのことを考えてみたい学生さん等に一度足を運んでほしい地区である。

お問い合わせ先

滋賀県農政水産部農村振興課 地域資源活用推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号  
TEL: 077-528-3963

詳しくはこちら





# しがのふるさと支え合いプロジェクト

参加大学・  
企業様  
大募集!!

## 中山間地域を未来へ繋ぐ活動に参加しませんか？



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

### 未来へつなぐバトン

「中山間地域」とは、山間地とその周辺の地域をいいます。滋賀県では、県土の約 65% がこのような地域です。農村は、食糧生産の場であるだけでなく、雨水を一時的に貯えて、洪水や土砂崩れを防いだり、たくさんの生き物を育みます。また美しい農村の風景は、私たちの心を和ませる役割を果たしています。

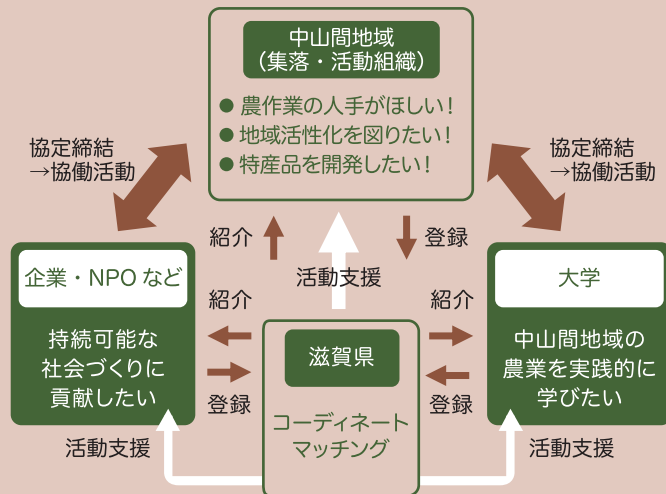
近年、中山間地域では人口減少や高齢化の進行、農業の担い手不足などにより、耕作放棄地の増加が懸念されています。

今後、住民の力だけでは地域の農業、農村を維持するのが厳しい状況になると考えられます。

都市部に住む人々にも様々な『めぐみ』をもたらす中山間地域を、みんなで守っていきませんか？

都市と農村、世代を超えた人々との交流を「しがのふるさと支え合いプロジェクト」を通して広げ、この大切な場所を未来へつなぎましょう！

#### プロジェクトのイメージ



#### 【しがのふるさと支え合いプロジェクト】事業紹介

「しがのふるさと支え合いプロジェクト」とは、中山間地域の活性化を目的に、地域の集落等と企業や大学、NPO 法人等の皆さんが協働し、農作業や棚田の保全活動、都市農村交流活動などを行っていただく取組です。

県では、協働活動のコーディネータや、相手先とのマッチング、協定を締結し協働活動を行う団体への支援を行います。

まもなくくらは、令和 4 年度に県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」に登録し、地域活性化に向けた協定を締結して、農地の保全や炭焼き等の活動に協働で取り組んでくれる大学や企業等を募集しています。

詳しくは  
こちら

